

2019年10月2日
株式会社東陽テクニカ

国内初！東陽テクニカ、株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレスと Wi-Fi 6 アクセスポイントの性能試験を開始

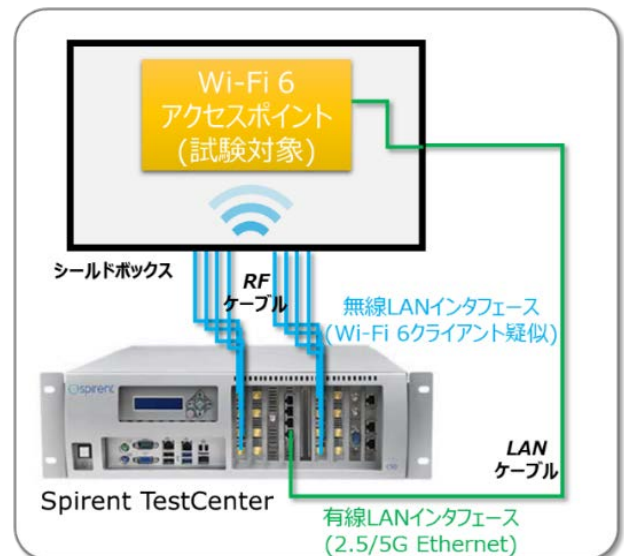
株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)と株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス(本社：東京都中央区、代表取締役社長：大塚 浩司、以下 Wi2)は、通信・IT 関連測定器のリーディングカンパニーである Spirent Communications Inc.(本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下 Spirent 社)が開発・製造する次世代ネットワークパフォーマンステスト「Spirent TestCenter」シリーズの次世代無線 LAN 規格 IEEE 802.11ax(以下、Wi-Fi 6^{※1})対応モデル、「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」を使用して、国内初^{※2}となる複数ベンダーの Wi-Fi 6 アクセスポイント(以下、AP)の性能試験を共同で開始いたしました。

※1 Wi-Fi Alliance が提唱する IEEE 802.11ax の呼称

※2 複数ベンダーの Wi-Fi 6 対応 AP および 2.5/5G Ethernet インタフェース接続による性能評価/結果比較を実施することにおいて国内初(東陽テクニカ調べ)



STC 11ax 対応 C50 アプライアンス外観



試験接続イメージ

1. 背景

近年、スマートフォンやタブレット端末が普及し、高速で安定的な公衆無線 LAN 環境のさらなる整備・拡充が求められています。無線 LAN 環境を構築する際、AP の性能・品質を正確に把握することは非常に重要です。しかし、AP のデータシートのデータはあくまでも一定条件下のみの試験結果であり、通信事業者や無線 LAN ネットワーク構築事業者が独自に求めるシステムの要件に合致するパフォーマンスやスケーラビリティを持つかどうかを正確に把握するためには、無線 LAN システムごとにそれぞれ AP の性能試験を行う必要があります。

2. 概要・特長

「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」を使用して、複数ベンダーの Wi-Fi 6 対応 AP の性能試験を開始いたしました。本製品は Wi-Fi 6 端末を疑似し AP と 2.5/5G Ethernet で接続することで、クライアント(無線 LAN 端末など)のインターネット接続を想定した試験を行うことが可能です。

本試験を実施することにより、システム要件に合致する適切な AP を選定することで最適な無線 LAN 環境の構築と通信品質の担保ができ、さらに安定かつ高品質な通信サービスの提供が可能になります。

また、今後普及が見込まれている Wi-Fi 6 対応の無線 LAN 端末(Android 端末および iPhone 等)が利用されることを想定した評価も合わせて試験を開始いたしました。

3. 今後の展開

東陽テクニカ、Wi2、Spirent 社は本試験の結果を活用し、適切な性能・品質を持ち合わせた AP による無線 LAN 環境の整備・拡充に向けて、より最適な無線 LAN 環境および試験環境を提供できるよう努めてまいります。

4. 本試験に関するコメント

【株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス 技術運用本部長 中野 健司氏】

「次世代無線 LAN 規格 IEEE 802.11ax(Wi-Fi 6)の無線 LAN を導入するにあたって、メーカーから提供されるデータシートの値では無く、各社 AP について、Wi-Fi 6 対応無線 LAN 端末が接続可能な台数、スループットの実測値、それぞれの特性を把握する評価を開始いたしました。今後のビジネスに非常に役立つ試験を開始することができたと思います。」

【Spirent 社 ビジネス・デベロップメント・マネージャー Ryan Zhong 氏】

「日本をはじめとする東アジアの各国では、Wi-Fi 6 導入に向けた具体的な取り組みが活発に始められています。Spirent の先進的な無線 LAN テストソリューションが、今回の Wi2 様の取り組みに大きく貢献できていることをとても嬉しく思います。」

<株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレスについて>

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレスは、世界中で広く普及している Wi-Fi 技術を活用して、End to End の無線 LAN サービスの提供を目指している会社です。公衆無線 LAN サービスは、近年のスマートフォンやタブレットをはじめとした無線 LAN 対応機器の多様化と爆発的な普及に伴い、インターネット接続にはかかせない通信インフラとなってきております。また、災害時の通信手段として、或いは、訪日外国人のお客様のインターネット接続サービスとしてなど、期待される役割はますます高まってきております。加えて、大手カフェチェーン様、大手ファミリーレストランチェーン様のように、企業様の新たな付加価値提供のひとつとして、弊社の公衆無線 LAN インフラをご活用頂く事例も急速に増えてきております。これからも Wi2 は、公衆無線 LAN のベンチャー & リーディングカンパニーとして、すべてのステークホルダーの皆様へ新しい感動をお届けすることを目指してまいります

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス Web サイト : <https://wi2.co.jp/>

<Spirent Communications Inc.について>

Spirent Communications Inc.は、米国カリフォルニア州サンノゼに本社を構える測定器メーカーです。IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。そのソリューションは研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器メーカー、企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、業界のリーディングカンパニーとして長年にわたり通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって、400G イーサネット、5G、LTE、無線 LAN、衛星通信、NFV、クラウド、IoT、M2M、ネットワークセキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

Spirent Communications Inc. Web サイト : <https://www.spirent.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁両立性）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250(直通) E-mail : testcenter-sales@toyo.co.jp

Spirent TestCenter シリーズ「STC 11ax 対応 C50 アプライアンス」紹介ページ

https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/testcenter_wifi-access-point.html

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。